



～ 夏の思い出 その 2 ～

「セ・レ・ブな夏」

この夏は、AJDF という「ダンスの甲子園」と呼ばれる、全日本高校・大学の創作ダンス全国大会（女優の土屋太鳳さんもこの大会に出場した OG です。）が、神戸で四年ぶりに観客を入れて開催でき、昨年までの無観客（客席には審査員のみ）の大会とは全く違い、ホール全体が感動に揺れ、改めて「舞台」という言葉をかみしめました。

「ステージ」とも言う「舞台」ですが、語源はラテン語で「立つための場所」という意味の *statum* だと言われるとおり、「立って何かを公に展示する場所」と言う意味のある言葉です。しかし、日本語の「舞台」とは、「舞うための場所」と言う意味です。

実は、古来日本では「舞台」は神様に捧げる「舞」を舞う場所だったのです。能舞台がその代表です。

先ほどのダンスの大会でも、人間の身体の動きが、いかに美しく、観る者を魅了するものなのかを表していましたし、「舞」とは、これ以上ないほどの、「神様への捧げ物」だという考えには、納得してしまいました。

折しも円安で、長らく日本に來られなかった家族、友人が来てくれたので、日本的なことを出来たら良いなあ～！と思い、日本舞踊をしている友人に相談すると、「能」のワークショップをしていただけることになり、能楽堂へ行きました。

能面を付けて能舞台に立つと、ほぼ何も見えません。「すり足」で舞台の枚数を数えながら、舞台の何処に自分が立っているのかを把握したり、手元の組まれた紐を締めたり緩めたりしながら小鼓を打って音の高低を奏でてみたり、古典の言葉で歌う「謡（うたい）」をしたり・・・、かなり盛りだくさんでした！海外の人には難しかったかもしれませんが、めちゃくちゃ楽しんでくれてまして、皆が口にしたのは、能が「洗練された美しさ」を持つ「舞」だということです。

日本独特の動きや、音楽の演奏も含めてですが、あの制約された中であれだけの演目を皆で作り上げ、数百年の時を重ね、センレンさせてゆく・・・まさしく「洗練」「舞」「せん れん」「ぶ」・・・「セ・レ・ブ！」な夏休みでした！

「暑かったなあ、夏」

夏の思い出として真っ先に思い浮かぶのは学生時代の夏休みです。学生時代の私はボランティアのキャンプリーダーに明け暮れていました。瀬戸内海に浮かぶ、小豆島と地続きの小さな島が本拠地でした。そのキャンプ場はクーラーも電気もなく、当然テレビなどもない、自然いっぱいのところでした。その当時は 6 月後半から 9 月の頭の全期間のうち、50 日以上そのキャンプ場で過ごしました（連続じゃないよ、時々神戸には帰ってきたよ笑）。毎年夏もなれば日焼けで全身脱皮していた日々でした。

そこでのキャンプは小学 1, 2 年生のキャンプや中高生のキャンプ、3 泊 4 日でヨットの実技や座学を学ぶものや、小 3 から高校生の男子ばかりの 11 泊 12 日のキャンプもありました。そのキャンプ場では責任者としての職員が数名おられましたが、子ども達のグループを担当するのをはじめ、規格運営するのも食事を作るのも施設を管理するのも買い出しに行くのも全て学生のボランティアリーダーで行っていました。そこでの活動を通じて、ヨットやカヌー、ボート、カッターなどの操船技術を身につけたり、子ども達の指導のために小型船舶免許を取得したりもしました。またみんなで歌うときの伴奏としてギターも練習し、キャンプ場を飛び出して無人島に行ったときのためにテントの張り方や野外炊飯の技術も身に付けました。他にも薪の組み方や火の始末、etc.etc.etc...

しかし振り返ってみて学んできたことの中で何より大切だったのは、子ども達との関わり方を、体験を通して学んだことでした。私の今最も大切にしていることの骨組みは、そのキャンプで学んだことがほとんどです。本音をいうと、その活動を仕事として行えておれば、今の仕事にはついていなかったかもしれません（いや、マジで）。そこで苦楽を共にした友人たちとは十年経った今でも年に数回集まっています。今でも夏の暑さが増してくると、その頃が恋しくなります（体力もないから今行ってもダウンすると思いますが(～～;))

「特別なことはしていませんが…」

この夏はどこかに旅行に行ったり花火を見たりはしていませんが、夏休みの中で比較的印象に残っている出来事を2つ書きます。

一つ目。人生で初めて回らないお寿司屋さんに行きました。チェーン店のお寿司ももちろん美味しいですが、ネタのクオリティーはやっぱり違うなと思いました。店の雰囲気も高級感があり、注文するだけでも緊張。コースを注文して食べましたが、お寿司はもちろん、茶碗蒸しや天ぷらも delicious。人生の中で何度も行けるようなお店ではないからこそ、一つ一つを味わい、美味しさを噛み締めました。また機会があれば行きたいと思います。

二つ目。部活の練習試合の帰り道に、お昼ご飯を食べようと阪急塚口駅周辺を歩いていると、見覚えのある2人が前を歩いていた。その2人はなんと自分のクラスの生徒。お互い「こんにちは。」と挨拶を交わしましたが、挨拶以外何も言葉が出ませんでした。おそらく、生徒2人も、「何でここにおるん？」と思ったことでしょう。2学期が始まってからの面談で話を聞くと、オープンキャンパスの帰りだったらいい。暑い中お疲れさまでした。ちなみに、その後お昼ご飯は餃子を食べました。味はあんまり覚えていません。

「新たな挑戦」

年をとっても何かに挑戦してみようと、昨年スキューバダイビングのライセンスを取得しました。これは水深18m（約地下6階の深さ）まで潜れるライセンス。ダイビングを始める前は、これで十分楽しめるだろうと思っていました。しかし、このライセンスでは、本来洞窟や沈船の中に潜ることができません。取得後も何度か潜っているうち、ある日、インストラクターが私の技術から大丈夫と判断し、洞窟の中に連れて行って下さいました。そこには真つ暗な洞窟の中に天井から幾筋もの太陽光が差し込み、言葉では言い表すことのできない幻想的な世界が広がっていました。「もっとこんなポイントを潜ってみたい！！」と、今年は石垣島にステップアップしたアドバンスオープンウォーターライセンスを取得しに行ってきました。

講習といってもこのライセンスの場合、どちらかというとファンダイビングが主で、2日間で30分×6回のダイビングを楽しむことができました。ウミガメと一緒に泳いだり、洞窟を探検したり、他の海ではなかなか出会えない5メートルの巨大なマンタを見ることもできました。広い海を悠然と泳ぐマンタの姿は美しく、まるで巨大な宇宙船が飛んでいるかのようで、一発で私の心は魅了されました。思い切って挑戦したことで、私は新たな発見と感動を得ることができました。これからもどんどんいろんなことにチャレンジし続けていきたいと思っています。

先生たちの個性あふれる「夏の思い出」いかがでしたか？いろいろな話があつて楽しめたかと思います。また、スタディーサプリで皆さんにも夏の思い出アンケートをとらせていただきましたので、少しだけ紹介します。

- 初めて推しのライブに行けた！ 明治神宮野球場まで見に行けて幸せでした!! 声出しすぎて喉がかわれた… 最高の夏でした!!!!
友達と自転車で行って約4時間かけて梅田に行きました。日焼けして痛かったです笑 →自転車で…。嘘やろ。
- 女の子と遊べた！ →やったやん♪ほんでどーなったん？
- 家族で生野銀山に行ったり、資生堂の工場見学に行ったりなど、いつもはあまりできない家族と過ごすという時間がたくさん取れて、すごく良かったです！ですが、課題をいつもちょっとずつやりはするけど、結局ギリギリまでためてしまっしんどかったんで冬休みは絶対に早めに終わらせてあとは何も考えずに遊べるようにしたいと思いました。→冬休みの後、いい話を聞かせてくださいね☆

実は、今回のアンケートは54名しか回答がありませんでした(; ∇ ;) 今後、学年での行事のときは、おもにスタサブでアンケートを取るので、みなさん協力してくださいね！！

ところで、みなさんはスタディーサプリを活用することができますか？いざ、活用したいときに操作方法が分からないと困りますよね。はたまたログインすらできないという人はいませんか？ぜひ、今のうちに使う習慣をつけてください。また、9月27日（水）の学年集会で、スタディーサプリの活用について大事な話をします。

さて、いよいよ体育大会ですね。今週は、体育大会に向けて良い練習ができました。どのクラスもとても良い雰囲気でした。あとは、コンディションを整えることです。そのために、ぜひ良い週末を過ごしてほしいと思います。